

部活応援隊が行く!!

作品を通じて自己表現力を高める

木本高等学校 美術部

16人の生徒が所属する木本高等学校美術部。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で思うように活動ができないうち、互いに切磋琢磨し、制作を続けてきました。

Q1 どんな雰囲気部の部活ですか？

A1 (大井さん)フレンドリーな雰囲気。魅力です！楽しいときは楽しく、厳しいときは厳しく、メリハリのある部活動です。

部長 大井 優依奈さん
(おおい ゆいな)



(顧問:山口先生)フレンドリーな雰囲気。魅力です！楽しいときは楽しく、厳しいときは厳しく、メリハリのある部活動です。

Q2 ものづくりの魅力を教えてください。

A2 (大井さん)絵が好きで入部しました。芸術として描くというよりは、自分の記録として作品を手がけています。作品を通してストーリーを表すことができ、表現力を高められるのが魅力です。あとはとにかく楽しいこと！



Q3 先輩から学んだことで、後輩へ受け継いでいきたいことは？

A3 (大井さん)コミュニケーション能力に長けていた先輩方。後輩と一緒に頑張る姿勢を受け継ぎたいです。

部全体を引っ張っていくことで、互いの中がより深まると感じます。



フリモAR
アプリをダウンロード！
写真にかざすと
美術部のコメントが
見られます。



Q4 現在の活動について教えてください。

A4 (大井さん)11月に、三重県総合文化センターで開催される「みえ高文祭」や、3月に開催される「南勢地区高等学校美術展」などの美術展に向けて油絵を制作しています。今は新型コロナウイルス感染症の影響であまり活動できていないのですが、以前は熊野市内の風景を描いて、公民館に展示していました。コロナが流行していた時期は思うように活動できないときもあり、モチベーションが下がったときもありましたが、互いを励まし合い活動を続けました。

Q5 部活を通じて、生徒たちに学んでほしいことは何ですか？

A5 (顧問:山口先生)制作を通じて自己表現力を高め、部員の皆で一緒にあって何かを作りあげていくことの大切さを学んでほしいですね。

